ボランティア活動支援事業に係るアンケート調査の協力のお願い

公益財団法人　北海道地域活動振興協会

　このアンケート調査は、公益財団法人北海道地域活動振興協会（以下「協会」という。）が実施する「ボランティア活動支援事業」に関して、皆様に利用しやすい事業にするために行うものです。該当するもの番号をに記入してください。

◆１　貴団体の構成員の状況（構成員数）について教えてください。

１　5人未満　２　６～１０人　３　１１～１５人　４　１６～２０人

５　２１人以上

◆２　貴団体の活動者の平均年齢について教えてください。

１　２０歳代　２　３０歳代　３　４０歳代　４　５０歳代　５　６０歳代

６　７０歳代　７　８０歳代以上

◆３　この助成金事業については、どこで知りましたか。

 １　協会ホームページ（協会機関紙「地域活動だより」を含む）

　　　　２　市町村からの情報提供　　　　　　　　　３　市民活動センターなどからの情報提供

　　　　４　市町村社会福祉協議会からの情報提供　　５　知人・他団体からの情報提供

 ６　その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

◆４　団体の事業の実施にあたり、ボランティア活動支援事業の助成金は効果的でしたか。

　　　　１　効果的だった

 ２　あまり効果的ではなかった（具体的に下欄にお書きください）

|  |
| --- |
|  |

【◆４「１　効果的だった」に回答の方にお聞ききします。】

◆５　特に効果的と感じた項目を教えてください（複数回答可）。

 １　財政的に団体の負担が軽減された

 ２　行政や他団体とのネットワークが広がった

 ３　団体活動への地域住民の理解が広まった

　　　　４　会員等の賛同者、協力者が増加した

 ５　活動を担う人材の育成が図られた

 ６　事業や団体の活動が新聞等に取り上げられた

 ７　その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

◆６　新型コロナウイルス感染拡大により、活動の中止や変更などの影響がありましたか。

 　　　 １　影響があった

　　　　２　あまり影響がなかった

次のページへ続く

【◆６「１　影響があった」に回答の方にお聞ききします。】

◆７　具体的に受けた影響を以下の選択肢からお選びください（複数回答可）。

　　　　１　事業を中止・延期した

 ２　事業規模を縮小した（サービスや利用者を限定する措置など）

 ３　事業内容を変更した

 ４　衛生用品や食料・資機材等物資が不足した

 ５　ボランティア・スタッフが不足した

 ６　会議の開催ができなくなった

 ７　定期提出書類や会議資料等の書類作成が困難になった

 ８　会費収入や寄付金収入などの収入が減った

 ９　その他（下欄にお書きください）

|  |
| --- |
|  |

◆８　新型コロナウイルス感染拡大の影響に対し工夫した点があれば、以下の選択肢か

 らお選びください（複数回答可）。

　　　　１　新規の事業を企画した

 ２　事業の縮小や内容を変更した

 ３　オンラインツールなど活用した

 ４　感染症対策を実施した

 ５　補助金制度や助成金制度を活用した

 ６　その他（下欄にお書きください）

|  |
| --- |
|  |

◆９　新年度（２０２１年度）の事業について予定していることがあれば、下欄にお書きください。

|  |
| --- |
|  |

◆１０　今年度、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたボランティア団体や市民

活動団体を支援するため、団体が実施する新型コロナウイルス感染症対策や新型

コロナウイルス関連事業に対する助成金事業を実施いたしました。

　　　　来年度の事業計画の参考とするため、今後、支援してほしい助成制度があれば、以下の選択肢

からお選びください。（複数回答可）。

 １　環境整備助成

 （リモートワークに必要なパソコンやタブレットなどの物品購入に対する助成）

 ２　関連事業助成

 （道民を対象としたwithコロナ・アフターコロナ対策に関する事業に対する助成）

次のページへ続く

 ３　モデル事業助成

 （withコロナ・アフターコロナに向けた新たな取組みなど他のモデルとなる事業に対する助成）

 ４　研究調査助成

 （withコロナ・アフターコロナに向けた社会課題の解決のための研究・調査に対する助成）

　　　５　特に必要なし

６　その他（下欄にお書きください）

|  |
| --- |
|  |

◆１１　助成金事業全般や協会に対するご意見・要望等がありましたら、お聞かせください。

|  |
| --- |
|  |

ご協力ありがとうございました。

団体名

回答者